

健康管理と獣医療技術
— DOD発生状況調査 —

DOD(発育期整形外科疾患: Developmental Orthopedic Disease)という言葉を知りたり、使ったりしたことがあるでしょうか。「成長期における発育の異常から生じる骨や腱などの疾患」の総称として使われる専門用語で、軽種馬産業界でも最近は大い普及してきました。詳しい説明は別に譲るとして、軽種馬生産に携わる者にとっては気になる問題でしょう。(BTCニュース59号:平成17年「若馬の骨疾患の現状」http://www.b-t-c.or.jp/btc_p300/main3.html参照)

牧場に常々訪れる獣医師や装蹄師、飼料業者に「DODは最近増えてきたのかねー。」とか、繋ぎの立っている馬がいれば、「他の牧場はどうですかね。」といった話が始まることもあるでしょう。

毎年何10頭も生産している牧場なら、こういった「最近は」とか「今年は」といった問題を自分の牧場だけを見ているとしても実感することもあるかもしれませんが、一般的な規模の牧場ではそうはいかないと思います。クラブフットや、繋ぎの立っている馬(Flexural deformities)のように比較的多く発生する現象ならばこの牧場は多いとか、飼い方(餌、放牧)を変えたら増えたとか、経験からいえることもあるかもしれません。一方、跛行の原因が骨の異常だったり、市場に出す馬のレントゲン写真を撮ったらたまたまその馬に異常があったというような稀な問題が発生したときは、自分の

牧場だけであろうか、今の飼い方に問題があったのだろうか、いろいろと悩んでしまう事でしょう。

そのような時は、懇意にしている獣医師や装蹄師、飼料業者に相談してみるのでしょうか。自分の牧場だけを知っている人よりも、いくつもの牧場を回っている人の方が、そういった情報を多く持っているかもしれません。

ところが、いくつもの牧場を見て回っている人も、意識して観て記憶しておかないと、印象だけで「今年は……」とか「この牧場は……」といった話をしてしまうかも知れません。あるいは忙しいと、請け負った仕事だけ済まして帰ってしまうのが通常かも知れません。

そこで、当研修センターでは、牧場関係者に役立ててもらえる情報となるよう、DODの発生状況に関する調査を実施しています。

市場レポジトリーに集められる四肢のレントゲン画像からは、何の症状のない馬でも、OCD等の骨の異常が見つかり、その発生率を調べています。海外の情報とも比較して、日本における特徴も分析しています。(競走馬となった後の競走成績も調べています。)

獣医師の診療からも、1万件近い子馬・若馬の運動器疾患の事例から、DODに類する疾患のものを抜き出し、DODの発生状況を調べています。

その結果、1つの牧場、1人の専門家(獣医師、装蹄師、飼料業者等)の経験だけでは分からない事実が見つかることと思います。集められたデータの分析の結果が出ましたら、JBBA NEWS、講演等で随時公表していきますので、御期待下さい。

DODに分類される疾患

Osteochondritis dissecans(OCD) 骨軟骨症

関節軟骨の形成異常。関節軟骨がえぐれたり、浮いたりする。関節の変形や、浮遊した骨片があると、関節液が増え、疼痛がある事もある。

Phytitis 骨端症

骨の成長部(化骨線)の異常。化骨線部の腫脹、炎症を伴う事もある。

Subchondral cystic lesions(bone cysts) 骨嚢胞

関節軟骨の形成段階で生じた、骨の中の空洞。

Cuboidal bone malformation 立方骨の形成不全

足根骨(飛節を形成する骨)の発育が悪く、変形や、押しつぶされたりしたもの。飛節の折れ曲がる部分とは違った箇所、深折れとなる。

Cervical vertebral malformation(Wobbler syndrome) 「腰萎症」

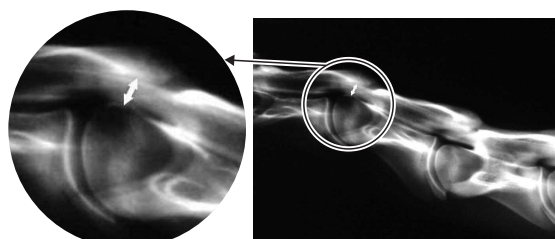
頸部における脊椎の病変により運動障害を起こす。頸椎の変形(骨端症)による、脊柱管の狭窄が原因である。

Angular limb deformities 四肢の角度異常

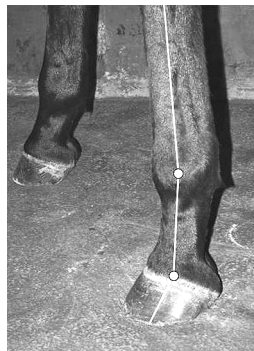
化骨線での発育のアンバランスにより生じる、四肢の軸の異常。X脚等。

Flexural deformities(contractured tendons, club foot) 四肢の屈曲異常

骨の成長と腱などの成長のアンバランスにより生じる、関節の屈曲異常(きちんと伸びない。腱拘縮)。クラブフット、突球等。



「腰萎症」(Wobbler Syndrome)
←→の部位で脊柱管が狭窄している。



「腱拘縮」
左:「突球」浅屈腱の拘縮。「繋ぎ」はほぼ垂直となっている。
右:「クラブフット」深屈腱の拘縮。蹄角度が起きている。